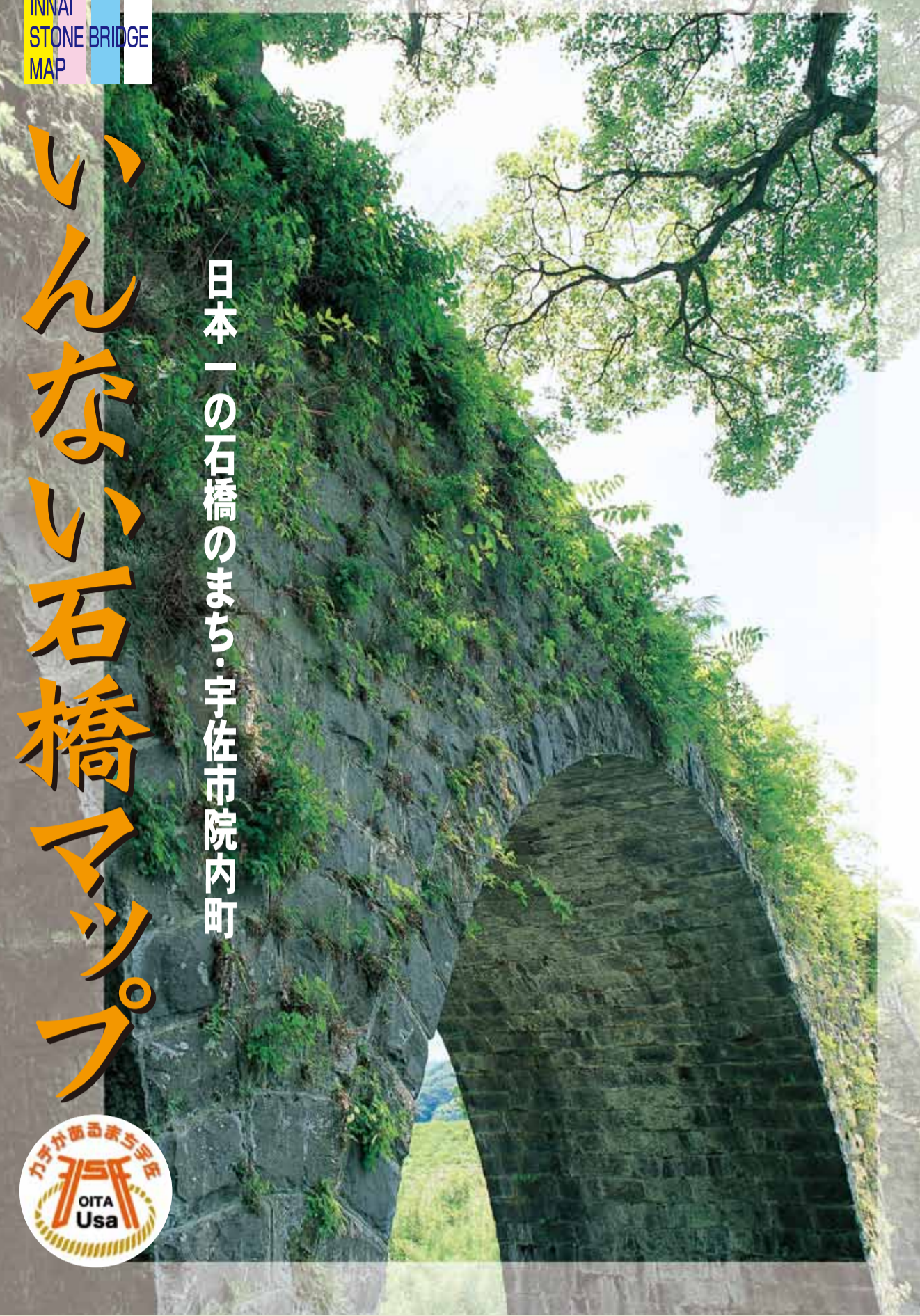


いんない石橋マップ



日本一の石橋のまち・宇佐市院内町



宇佐の特産物と情報が満載

道の駅いんない

ふるさとのもごころ発信



まごころのこもった特産品や山の幸をつかったレストラン。ここから、院内のホットな情報を発信します。

道の駅いんない

院内めぐりは、まずここで情報収集を。石橋の解説やパンフレットなど、院内の豊富な情報を発信しています。また、おみやげに最適な朝採りの新鮮な野菜や果物をはじめ、院内の特産ゆずをつかった品々など、真心のこもった逸品が満載。レストランいしばし茶屋では、どじょう鍋、宇佐からあげ、だんご汁など、宇佐市ならではのメニューが人気です。

道の駅いんない

TEL・FAX(0978)42-5539
営業時間/8時から18時
定休日/なし、年中無休
宇佐市院内町副1381の2

オオサンショウウオの生息地「院内町」



日本の生息地の南限として、九州では唯一宇佐市院内町に存在するオオサンショウウオ。国の天然記念物にも指定され、3000万年前の化石と今の姿がほとんど変わっていないことから「生きた化石」と言われています。両生類最大の生き物であり、大きいもので全長150cmを超えるものも確認されています。

日本一の石橋のまち・院内

地勢と水系と匠たち

その数75基。宇佐市院内町は日本一を誇る石橋のまちです。これらの石橋は、江戸時代の終わりに昭和のはじめにわたって架けられました。

院内町に石造アーチ橋が多いのは、いくつもの深い谷に集落が点在するという地形上の理由と、川が急流で、木橋では流されてしまうため石橋が求められたという背景があります。もともと院内では谷あいの段々畑を区切る石垣や水路をつくるため、石工の技術が男たちに必要とされていました。名棟梁・松田新之助に代表される優れた院内の「匠の技」が、「日本一の石橋のまち」をつくった大きな力となったわけです。

ふだんは足元にあってなかなか気づかない石橋。そのドラマは、ただ橋を渡っているだけでは見えないでしょう。視点を変え、たもとからじっくりと見上げたとき、石橋はわたしたちに語りかけてくれます。…石橋のアーチは、人と人をつなぐふれあいのアーチであるということ…

名工松田新之助

●石橋づくりにかけたロマン

鳥居橋や荒瀬橋など、院内を代表する石橋を10基以上も架けた名棟梁・松田新之助(1867~1947)。彼は父の土木工を手伝うため関西でアーチ設計の技術を学び、帰郷した後は、院内の地形にあった石造アーチ橋の架設に情熱を注ぎました。

1924(大正13)年、架設中の富士見橋が、突然大きな音とともに崩落。しかし新之助は私財を売り払い、名工としての意地と信念で再び架設、翌年には見事に富士見橋を完成させました。石橋づくりに生命を燃やした「石工の魂」を伝えるエピソードは、今も私たちの胸をうってやみません。



宇佐市内その他の石橋

1 とくしん橋 Tokusin Bridge (県指定有形文化財)

所在地:宇佐市大字山本 架設年:延享2年(1745年)
鷹栖観音堂の下流で駅前川に合流する社ヶ谷川に架かる桁橋。県内最古の石橋と考えられており、名前は橋を架けた僧の名からつけたと推測される。



2 今井橋 Imai Bridge (市指定有形文化財)

所在地:宇佐市安心院町大 架設年:大正12年(1923年)
今井地区の酒造業佐藤氏の計画により架設された石橋。院内町の石橋とは対照的な短い橋脚が特徴の均整の取れた美しい3連アーチ橋である。



3 父の背橋 Chichinose Bridge

所在地:宇佐市院内町御野 架設年:平成23年9月(2011年)
地域の石橋文化を次代に伝えるため、院内北部小学校の父親部が中心となって4年をかけて親子、地域で造られた石橋です。



お問い合わせ/

宇佐市院内支所 産業建設課 大分県宇佐市院内町山城39番地
TEL:(0978)42-5111 FAX:(0978)42-5115
宇佐市観光・ブランド課 大分県宇佐市大字上田1030番地の1
TEL:(0978)27-8171 FAX:(0978)32-2324
(一社)宇佐市観光協会 大分県宇佐市南宇佐2179-3
TEL:(0978)37-0202 FAX:(0978)37-0601
発行/宇佐市

西光寺橋 Saikoji Bridge (市指定有形文化財)
この橋は、江戸時代末に建立された西光寺(現在は廃寺)の参道として使われてきました。側壁は、自然石を使用しています。



福嚴寺羅漢橋 Fukugonji-Rakan Bridge
十王像や羅漢像、牛頭・馬頭像、観音像などが安置された福嚴寺(現鹿洞市)指定史跡へつながる参道にかけられた石橋です。



一の橋 Ichino Bridge (市指定有形文化財)
山神社への参道で、北山川に架かる石橋です。規模は小さいながら側壁に自然石を使用した姿は、緑豊かな周囲の景観になじんでいます。



久地橋 Kyuchi Bridge (市指定有形文化財)
両端を大桁の石2本で渡し、厚さ15cmの重厚な板石が16枚も並べられた。県下でも珍しい桁橋です。右岸は桁石を支えるため石組みが施されています。



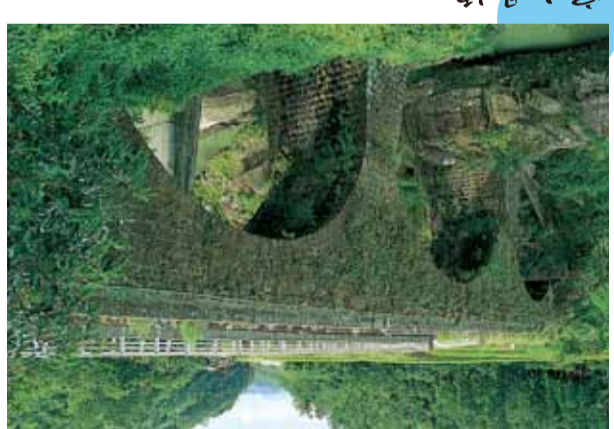
両合川橋 Ryoagawa Bridge (国指定有形文化財)
棚田の広がるのどかな景色にとけ込んだこの橋は、小平地区と滝真地区の谷川が合流する地にあるため、この名で呼ばれるようになりました。



打上橋 Uchiagari Bridge (市指定有形文化財)
江戸時代末の文久3年に架設された石橋。橋の下には、打上水路橋が架けられています。



富士見橋 Fujimi Bridge (市指定有形文化財)
橋の上に立つと豊後富士(由布山)が見えることから、14年に架設されたこの橋は、当時のモダンなデザインが活かされています。川面に映じられた姿も幻想的。(後開ライトラップ)



御舟橋 Mikutsu Bridge (県指定有形文化財)
橋の長さが59mと、院内町最長を誇る3連アーチ橋。大正14年に架設されたこの橋は、当時のモダンなデザインが活かされています。川面に映じられた姿も幻想的。(後開ライトラップ)



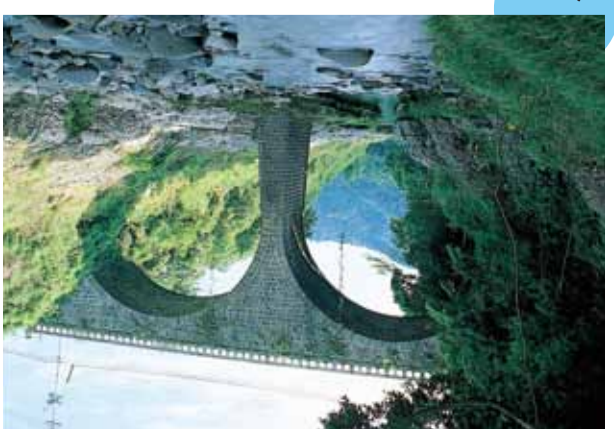
鳥居橋 Torii Bridge (県指定有形文化財)
すっと天に伸びた優美な橋脚から、上品さえ感じさせる院内の代表的な石橋で、「石橋の貴婦人」とも呼ばれています。深い谷に点在する集落を5連のアーチがリズミカルに結んでいます。(後開ライトラップ)



分寺橋 Bujji Bridge (市指定有形文化財)
当初、大正時代に架設されましたが、昭和20年に大改修がされた3連のアーチ橋です。戦争真っ最中の改修にも関わらず、均整に彫刻された石がいていねいに積み上げられています。



荒瀬橋 Arase Bridge (市指定有形文化財)
完成後しばらくの間は有料とされ、県下では第一号の有料橋でした。長い橋脚と美しい2連アーチを描く石橋で、橋高は18.3mと院内町最高の高さを誇っています。(後開ライトラップ)



積みかさねた石の匠の技のつらなまの石橋マップ

いんない 石橋めぐり



先人達の技と情熱を伝える
“こころの架け橋”

1 一の橋	明治26年4月
2 界橋	昭和8年
3 北山水路橋	大正末期
4 清水谷水路橋	明治39年
5 鳥居橋	大正5年7月
6 松木橋	昭和23年
7 香下神社第一神橋	大正4年
8 香下神社第二神橋	大正4年
9 香下神社稲荷橋	大正4年
10 柳野橋	大正12年9月
11 打上水路橋	昭和初期
12 打上橋	文久3年5月
13 永原橋	大正10年
14 谷橋	明治期
15 宮の上橋	大正初期
16 神通橋	明治25年
17 御飯屋橋	明治25年
18 渡谷橋	大正末期
19 小稲橋	大正末期
20 橋詰水路橋	江戸末期
21 長六橋	昭和7年10月
22 新太郎橋	明治期
23 大重見橋	昭和20年
24 御首橋	大正14年8月
25 福蔵寺羅漢橋	江戸末期
26 荒瀬橋	大正2年
27 大副水路橋	大正末期
28 大副池橋	不詳
29 水雲橋	昭和2年
30 久地橋	明治初期
31 原口水路橋	大正末期
32 上出平橋	昭和3年
33 山の迫水路橋	大正2年
34 五名神橋	不詳
35 日岳橋	昭和31年
36 宮の上橋	昭和初期
37 富士見橋	大正14年
38 両合川橋	大正14年10月
39 落合橋	大正末期
40 中島橋	大正初期
41 分寺橋	大正初期
42 土岩屋橋	大正11年5月
43 コチバサコ橋	大正12年
44 シリナシ橋	昭和期
45 椎木橋	昭和14年
46 宇土川橋	大正10年4月
47 和田川橋	大正10年4月
48 野地橋	大正4年5月
49 中鍋橋	昭和12年
50 飛石橋	昭和25年
51 念仏橋	昭和3年12月
52 霞灰橋	不詳
53 打上川板橋	不詳
54 月俣神橋	大正12年
55 姥本橋	大正11年5月
56 宮地嶽橋	不詳
57 大畑橋	明治末期
58 広丸橋	大正2年
59 飯塚橋	明治初期
60 小野谷橋	昭和26年
61 出口の橋	昭和32年
62 フネガモト橋	大正末期
63 両合川橋	昭和38年
64 両合川橋	大正14年10月
65 落合橋	大正末期
66 分寺橋	大正初期
67 土岩屋橋	大正11年5月
68 コチバサコ橋	大正12年
69 シリナシ橋	昭和期
70 椎木橋	昭和14年
71 宇土川橋	大正10年4月
72 和田川橋	大正10年4月
73 野地橋	大正4年5月
74 中鍋橋	昭和12年
75 飛石橋	昭和25年
76 念仏橋	昭和3年12月
77 霞灰橋	不詳
78 打上川板橋	不詳

夜間ライトアップ 大型バスOK

31 原口水路橋	大正末期
32 上出平橋	昭和3年
33 山の迫水路橋	大正2年
34 五名神橋	不詳
35 日岳橋	昭和31年
36 宮の上橋	昭和初期
37 富士見橋	大正14年
38 両合川橋	大正14年10月
39 落合橋	大正末期
40 中島橋	大正初期
41 分寺橋	大正初期
42 土岩屋橋	大正11年5月
43 コチバサコ橋	大正12年
44 シリナシ橋	昭和期
45 椎木橋	昭和14年
46 宇土川橋	大正10年4月
47 和田川橋	大正10年4月
48 野地橋	大正4年5月
49 中鍋橋	昭和12年
50 飛石橋	昭和25年
51 念仏橋	昭和3年12月
52 霞灰橋	不詳
53 打上川板橋	不詳